

# 大阪国際大学キャンパスで防災フェスタ開催

守口市

2月24日(日)、門真市と寝屋川市に接する位置にある大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部守口キャンパスを舞台にして防災訓練の一大イベントが開催された。

その趣旨は、行政間の境界が災害発生時において縦割りの「弱み」になることなく、むしろ重なり合う「強み」となるよう、3市と大阪国際大学の協力体制を確認するため、大学や行政関係者、周辺住民やボランティア、学生や子どもたちが参加して防災について学んだ。

訓練内容は、「避難所運営ゲーム(HUG)」のキットを用いて、災害発生時にどのような方が避



避難所運営ゲーム。ウ〜ン難しい



こども防災教室



▲昆虫食参考展示



◀助け合いの大切さを訴える講師の水野さん

難所に避難されるのか、現場ではどのような対応が必要か、事前に対策を考える。また、講義・起震車体験 or 応急連絡訓練・模擬ボランティアセッション・新聞紙スリッパ or ぼのぼのランブ・クイズラリー・筋トレコーナー・土のう作成&積み上げ訓練・火おこし体験 or 水投

擲・狭所通過体験・フアー・ストエイド&簡易担架・避難所エクササイズなどをスタンラリー形式で体験した。

講演では、大分県竹田市社会福祉協議会の水野匡也さんが、平成29年九州北部豪雨での被災地支援ボランティア活動での経験から、「被害に遭わ

れた方は、自分から助けてほしいといいたくありませんでした。家族が孤立している今こそ、おせっかいなおばちゃんが存在が重要」と、日頃からの隣近所の声かけや助け合いの大切さを訴えた。また、災害直後の経験から自ら避難する判断力や、その後の避難生活のための備えの重要性を語った。